

性能評価用提出図書（別添） 作成要領

（軒裏用）

注意事項

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
- 2) 図書のサイズは特に指定されたもの以外はA4版としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS 明朝体・サイズは10ポイント、数字・単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS・WORDを使用してください。）
- 5) 上書きを使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。
3章は6章と自動リンクしており編集できません。
自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」－「すべて選択」の後「F9」を押すと反映されます。
「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス住宅保証株式会社
評定室

(別添)

構造名は打合せ担当者との打ち合わせに基づいて記載してください。不明な場合は一般名称で構いませんが、商品名は記入しないで下さい。

1. 構造名

〇〇板張／木製下地軒裏

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
軒の出	〇〇以上 〇〇以下
軒の形状	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)勾配 (2)水平

3. 材料構成

1) 主構成材料

3章は6章と自動リンクしているため、編集作業不要です。4章構造説明図以降の作成をお願いします。

(寸法単位：mm)

項目	仕様
1) 軒天材	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇〇板 ・厚さ 〇〇以上 ・働き幅 〇〇以上 ・模様深さ 〇〇以下 ・密度 〇〇 ・容積欠損率 〇〇%以下 ・表面形状 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)エンボス (2)平滑 (3)〇〇〇〇
2) 野縁	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 木 ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・間隔 軒の出方向〇〇以下
3) 吊り木	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり (軒の出が〇〇を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合) ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) 〇〇〇 2) 〇〇〇 3) 〇〇〇 ・断面寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上

項 目	仕 様
	<ul style="list-style-type: none"> ・間隔 軒の幅方向〇〇以下
4 換気スリット	<p>[1]本体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塗装溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 ・厚さ 〇〇以上 <p>(2) 溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 ・厚さ 〇〇以上 <p>(3) 塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 ・厚さ 〇〇以上 <p>(4) フェライト系ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 ・厚さ 〇〇以上 <p>[2]塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(2) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(3) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(4) 〇〇〇〇系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 〇〇g/m²以下 <p>[3]加熱発泡材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 〇〇〇〇系加熱発泡材 <ul style="list-style-type: none"> ・組成(質量%) <p>〇〇〇〇 **</p> <p>〇〇〇〇 **</p> <p>〇〇〇〇 **</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ〇〇以上 <p>×幅〇〇以上</p>
5 ●〇〇 (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	<p>●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)</p>
6 ●〇〇	<p>●認定仕様を記入してください。</p>
7 ●〇〇	<p>●認定仕様を記入してください。</p>
8 ●〇〇	<p>●認定仕様を記入してください。</p>
9 ●〇〇	<p>●認定仕様を記入してください。</p>

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①くぎ・ねじ	<p>[1]軒天材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下</p> <p>[2]換気スリット留付け用 ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下</p> <p>[3]野縁留付け用(野縁を使用する場合) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下</p> <p>[4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下</p>
②●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)。
③●○○	●認定仕様を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
④●○○	●認定仕様を記入してください。
⑤●○○	●認定仕様を記入してください。
⑥●○○	●認定仕様を記入してください。
⑦●○○	●認定仕様を記入してください。
⑧●○○	●認定仕様を記入してください。
⑨●○○	●認定仕様を記入してください。
⑩●○○	●認定仕様を記入してください。
⑪●○○	●認定仕様を記入してください。
⑫●○○	●認定仕様を記入してください。
⑬●○○	●認定仕様を記入してください。
⑭●○○	●認定仕様を記入してください。
⑮●○○	●認定仕様を記入してください。
⑯●○○	●認定仕様を記入してください。
⑰●○○	●認定仕様を記入してください。
⑱●○○	●認定仕様を記入してください。
⑲●○○	●認定仕様を記入してください。
⑳●○○	●認定仕様を記入してください。

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

<断面図> (勾配軒仕様)

軒の出が〇〇以上〇〇以下の場合

勾配軒の断面図や透視図を添付してください。
図面中の材料名は「3.構成材料」中の「項目」に合わせてください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<断面図> (水平軒仕様)

軒の出が〇〇以上〇〇以下の場合

水平軒の断面図や透視図を添付してください。
図面中の材料名は「3.構成材料」中の「項目」に合わせてください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<換気スリット形状図>

換気スリットの形状図を添付してください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

申請される構造の施工手順を記載してください。
また、寸法等は極力記載しないでください。

<施工手順>

1) 鼻隠し下地の取付け

- ・鼻隠し下地は垂木に固定する。

2) 野縁の取付け

- ・野縁は垂木、外壁、壁躯体又は垂木に取り付けた吊り木に固定する。
- ・軒の出が 500 mm を超える場合は軒の出方向の中間部に野縁を配置し、取付け間隔が 500 mm 以下になるようにする。

3) 換気スリットの取付け

- ・換気スリットは外壁、壁躯体等へねじで取り付ける。
- ・換気スリットは連続して使用する場合は突き付けとし、突き付け部に必要に応じて接合部材を使用する。
- ・防火上有効な発泡材（ありの場合）は、原則として工場で取り付ける。
- ・必要に応じて換気スリット裏面に断熱材を取り付ける。

4) 軒天材の取付け

- ・軒天材は、一方を換気スリットに差し込み、もう一方は鼻隠し下地へくぎ又はねじで留め付ける。中間部に留付け材が必要な場合は、くぎ又はねじを用い野縁または受け材へ留め付ける。
- ・軒天材目地は合じゃくり、突き付け、金属ジョイナーとする。
- ・

6. 評価方法

6-1. 試験体の選定

1. 寸法および形

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
軒の出	〇〇	〇〇以上 〇〇以下	遮熱性上不利となる最小(なお、吊り木なしの軒の出最大(〇〇mm)についても別途性能を確認している)
軒の形状	勾配	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)勾配	遮熱性上不利となる(1)

試験体に選定された構造を記載してください。数値は全て確定値(「以上」「以下」「±」等は付けない)で記載してください。また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

使用される軒天材の情報を記載してください。(板の名称、厚さ、幅、密度等)

2. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
1) 軒天材	〇〇〇〇板 ・厚さ 〇〇 ・働き幅 〇〇 ・模様深さ 〇〇 ・密度 〇〇 ・容積欠損率 〇〇% ・表面形状 エンボス	〇〇〇〇板 ・厚さ 〇〇以上 ・働き幅 〇〇以上 ・模様深さ 〇〇以下 ・密度 〇〇 ・容積欠損率 〇〇%以下 ・表面形状 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)エンボス (2)平滑 (3)〇〇〇〇	・厚さ、働き幅 遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大 ・仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最大 ・遮熱性上不利となる(1)
	(スギ)	・材質 木 ・種類 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材	・仕様と同じ ・遮熱性上同等の性能を有するため一般的な(1)
	製材 ・断面寸法 〇〇×〇〇 〇 ・間隔 軒の出方向 〇〇	・断面寸法 〇〇×〇〇の断面 法以上 ・間隔 軒の出方向 〇〇以下	・遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大

主構成材料の部材名の頭文字は項目順番号を□で囲った文字を使用してください。

仕様が複数存在する場合、「(*)~(*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載してください。

(寸法単位：mm)

項 目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
	×幅〇〇	×幅〇〇以上	
5 ●〇〇 (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体選定理由を記入してください。
6 ●〇〇	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
7 ●〇〇	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
8 ●〇〇	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
9 ●〇〇	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

留付け材は使用箇所ごとに、材質、寸法、間隔を記載してください。

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
①くぎ・ねじ	[1] 軒天材留付け用	[1] 軒天材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下	[1] 遮熱性上不利となる(1) ・仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大
	[2] 換気スリット留付け用 ねじ	[2] 換気スリット留付け用 ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下	[2] ・仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大
	[3] 野縁留付け用(野縁を使用する場合)	[3] 野縁留付け用(野縁を使用する場合) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下	[3] 野縁を使用しないためなし
	[4] 吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)	[4] 吊り木留付け用(吊り木を使用する場合) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下 (2)ねじ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上 ×L○○以上 ・間隔 軒の幅方向○○以下	[4] 吊り木を使用しないためなし
	くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○×L○○ ・間隔 軒の幅方向○○		
	なし		
	なし		

副構成材料の部材名の頭文字は項目準番号を○で囲った文字(丸付き数字)を使用してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
②●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)。	試験体選定理由を記入してください。
③●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
④●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑤●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑥●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑦●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑧●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑨●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑩●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑪●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑫●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑬●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑭●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑮●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑯●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑰●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑱●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑳●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

6-2.試験方法

- ・試験は、6-1 に示した試験体について、方法書「4.2 準耐火性能試験・評価方法」に基づき○○分準耐火性能試験を実施した。

6-3.試験の結果

[準耐火性能試験](加熱○○分)

- (1) 標準板の裏面温度上昇が加熱中、平均で 140K 以下、最高で 180K 以下であった。
- (2) 標準板の非加熱側へ 10 秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (3) 標準板の非加熱面で 10 秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (4) 標準板に火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4. 評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

7. 申請者連絡先

会社名：

所在地：

電 話：



連絡先を記載してください。